※令和４年度以降入学生用

学校番号	1004

令和５年度　公民科

教科	公民	科目	福祉と社会	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書							
副教材等	社会福祉基礎（実教出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・社会福祉に関する制度・政策に関する基礎的・基本的な知識を身に付ける。
・社会福祉の意義や役割を理解し、高齢者・障害者・地域福祉に関する基本的な知識と技術を習得させ、それらの諸課題について多面的・総合的に考察する視点を持つことができるよう、取り組む。
・毎時間の課題やグループ発表・実習について、関心や意欲をもって取り組める。また、発問に対して積極的に回答できることを目指す。

２　学習の到達目標

・社会福祉に関心を持ち、身近な問題として捉えることができる。
・現代の福祉制度がつくられた背景や経緯を学び、よりよい社会の実現に向けて参加、協力する態度を身につける。
・社会福祉の諸課題についての基礎的な知識を身につけ、問題の解決に向けて、主体的に考えることができる。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	現代社会における社会構造の変容や特色について理解し、社会福祉の意義や役割を理解している。	現代社会における福祉の課題等を身近な生活から見つけ出して追究し、それらを自分の言葉で表現している。	現代社会における福祉の制度を学び、課題を見つけ出したり、日常の生活と関連付けたりしようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	社会福祉」について知る	社会福祉の理念と意義 ・少子高齢化と人口減少社会の到来 社会保障制度 ・日本国憲法と社会福祉 ・間関係とコミュニケーション ・傾聴・受容・共感の基本姿勢 基本介護 ・座位・臥位の基本姿勢 聴覚障害について ・コミュニケーションツールの基本	a:「福祉」の理念と意義を、人間の尊厳と権利を踏まえた上で理解している。 b: 社会全体の福祉の向上に向けて、日ごろの生活や地域などの中の課題を見出して考察し、表現している。 c:社会全体の福祉の向上に向けて、日ごろの生活や地域などの中の課題について、改善点を見出そうとしている。	定期考査 ワークシート 実技考査	レポート課題 定期考査 ワークシート 実技考査	レポート課題 ワークシート
2学期	障害者」の分類について知る	高齢者福祉 ・高齢者福祉の理念と役割 ・高齢期の心身の変化 ・高齢者の自立支援 ・高齢期の過ごし方 障害者福祉 ・障害者福祉の理念と役割 ・障害者の自立支援 ・障害者の雇用と就労支援 ・聴覚障害者の自己表現	a: 障害の分類や高齢者の心身の変化に応じた支援を考え実践する知識や技能を身につけている。 b: 高齢者・障害者が抱える課題について考察し、QOL に応じた支援やサービスを考え、表現している。 c: 高齢者・障害者が抱える課題について考察し、QOL に応じた支援を見出そうとしている。	定期考査 ワークシート 実技考査	レポート課題 定期考査 ワークシート 実技考査	レポート課題 ワークシート
3学期	社会福祉」の地域貢献について知る	地域福祉の意義と役割 ・ボランティアの意義と役割 ・社会福祉資源の種類と活用 1年間の振り返り ・レポートの作成と発表 ・コミュニケーションツールの作成と発表	a:地域福祉の意義・役割や多様なボランティア活動や社会福祉資源について理解している。 b:日常生活や地域社会に存在する課題について考察し、社会福祉資源の活用方法を表現している。 c: 日常生活や地域社会に存在する課題について考察し、社会福祉資源の活用方法した解決策を見出そうとしている。	定期考査 ワークシート 実技考査	レポート課題 定期考査 ワークシート 実技考査	レポート課題 ワークシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度